

## 中医協「2008年度第2回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会」 ヒアリング対象にケアミックス病院を追加

中医協の下部組織である診療報酬調査専門組織のDPC評価分科会は7月30日、前年度に引き続き2008年度もDPC対象病院に対するヒアリング調査を実施することを決めた。適切な算定ルールの構築等を検討するために実施しているもので、その結果をもとに今改定では3日以内の再入院を1入院として取り扱う等、算定ルールの見直しが行われている。



今年度もヒアリング調査の実施を決定

08年度の調査内容は、再入院について、適切な診療報酬の請求について、その他で、3日以内の再入院率が高い医療機関等を対象にアンケートを行い、その結果をもとに選出した医療機関（院長等）に対して、同分科会でヒアリングを実施する。再入院に関する調査では、今改定で1入院の扱いにルール変更された3日以内の再入院についてその影響等を検証するほか、今後見直しが行われる4~7日以内の再入院が多い病院から意見を聞く。また、適切な診療報酬の請求に関する調査として、前年度と同様、1日当たりの包括範囲出来高点数や主要な診断群分類の平均在院日数の平均が全体平均から大きく乖離している医療機関に対してその要因等をヒアリングする。

08年度調査では新たに、部位不明コード（いわゆる「.9」コード）症例の割合が多く診断群分類の決定が正しく行われていない病院や、08年度から導入された新たな分岐（がん化学療法の主要な標準レジメンによる分岐、IFN - 7日以上投与した場合の分岐）を選択する割合が高い医療機関に対するヒアリングも実施する。その他としては、DPC対象病院の拡大とともに増加したケアミックス型病院の状況等についてヒアリングを行う。

委員からは、包括評価されている項目を出来高算定している医療機関が指導監査で明らかになったことから、「具体的な医療機関名を把握しているなら、ヒアリング対象に加えてほしい」等の指摘があった。ヒアリングは、今秋、複数回に分けて行われる見込みだ。